



# 滋賀県保育士実態調査へのご協力をお願い

滋賀県

## (施設用調査)

日頃から県の児童福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、保育士不足の実態や保育現場の職場環境の実態、保育士として働くことへの不安や職場に望むことなど、幅広く実態を調査・分析し、今後の効果的な保育人材確保の取組につなげることを目的として、保育士資格をお持ちの方や保育関係施設の皆さんにアンケートを実施することになりました。

皆様にはお忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和元年（2019年）11月

滋賀県健康医療福祉部 子ども・青少年局

### ご記入にあたってのお願い

---

1. 回答は、本年10月1日現在の状況をご記入ください。
  2. この調査は無記名で行い、調査票に記入された内容は統計的に処理し、貴施設名を公表することはありません。どうぞありのままをお答えください。
  3. 回答は問1から順に、質問ごとに用意した答えの中から、あなたの考えに近いものの番号に○印をつけてください。質問によっては具体的に数字等をご記入いただく場合があります。また、回答で「その他」を選ばれた場合は、その内容をカッコ内にできるだけ具体的にご記入ください。
  4. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**11月20日(水)**までに、ご投函くださいますようお願いいたします。(切手不要)
- 

### (調査に関する問い合わせ先)

滋賀県健康医療福祉部 子ども・青少年局 子育て支援室 保育人材確保係  
電話 077-528-3557



**貴施設の職員についておうかがいします。**

問3 貴施設の職員体制についておうかがいします。各職種別の職員数をご記入ください。

職種	保育士 (資格あり)		保育職員 (資格なし)		保健師		看護師		栄養士・ 管理栄養士	
	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規
常勤 (人数)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
非常勤 (人数)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

職種	調理員		事務職員		その他職員	
	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規
常勤 (人数)	人	人	人	人	人	人
非常勤 (人数)	人	人	人	人	人	人

※常勤＝各施設が定める所定労働時間による

※上記に無い職種は全て「その他職員」に含めてください。ただし、専任所長は記載の必要はありません。

問4 現状の保育士の人数と、理想の保育を行うために必要な保育士の人数をご記入ください。

※年齢ごとの区別がない場合は、合計の欄に人数をご記入ください。

※非常勤職員がいる場合は、常勤換算による人数をご記入ください。(小数点第2位を切り捨て)

(常勤換算による人数＝非常勤職員の1か月の勤務時間の合計÷各施設が定める1か月の所定労働時間)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	加配	その他 フリー	合計
①保育士数 【現状】	人	人	人	人	人	人	人	人	人
②保育士数 【必要数】	人	人	人	人	人	人	人	人	人
①－②	人	人	人	人	人	人	人	人	人

※①－②の人数は、不足している場合マイナスの数字になります。

問4-1 法令上の配置基準について、望ましい配置基準についてご記入ください。

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
①現行の配置 基準	3人		6人	20人		30人
②望ましい 配置基準	人	人	人	人	人	人

問5 貴施設の正規職員（常勤）である保育士（主任を含む）についておうかがいします。  
週あたりの平均的な（時間外労働を含む）実働時間は何時間ですか。（○は1つ）

1 週30時間～40時間未満	2 週40時間～50時間未満
3 週50時間～60時間未満	4 週60時間以上

問6 貴施設における正規職員（常勤）の待遇について、該当する数字をご記入ください。  
記入にあたっては、下記の注意書きを参照してください。

※当設問のご回答は、今後、保育所職員の労働条件の向上をはかるための基礎データとして活用させていただきます。趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願いいたします。

	(1) 平均年齢 (例：26.5歳)	(2) 勤続年数 (例：10年4か月)	(3) 給与等(年間) (例：538万円)
①初任保育士	/		万円
②保育士 (初任・主任を含む)	. 歳	年 か月	万円

注1) ②保育士(初任・主任を含む)には、施設長は除いて記入してください。年齢と勤続年数は平均値をご記入ください。(1)平均年齢は小数点以下第2位を四捨五入してご記入ください。

注2) (2)勤続年数とは、貴施設を運営する法人等における勤続年数とします。公立保育所の場合は、当該自治体における保育所での勤務経過年数(他保育所での勤務も含む)をお答えください。

注3) 初任保育士の(3)給与等については、貴施設の給与表にある短大卒新任保育士の額を用いて、およその年間額をお答えください。

注4) ②保育士(初任・主任を含む)の(3)給与等は、賞与を含む昨年の給与支給総額を計算してください。なお、社会保険料、所得税等の控除前の額となります。

問7 雇用形態が非正規（常勤）である保育士（資格あり）を配置していますか。（○は1つ）

<u>1</u> 配置している	2 配置していない ---▶問8へ
-----------------	-------------------

問7-1 問7で「1 配置している」と回答した方におうかがいします。

貴施設に勤める非正規職員のうち、保育士資格を持つ保育士について、雇用形態別に(1)雇用総人数、(2)平均年齢、(3)勤続年数、(4)給与等をお答えください。(数字は小数点以下第1位を四捨五入して記入してください。)

※なお、回答にあたっては問6の注)を参考にしてください。

	(1) 雇用総人数	(2) 平均年齢 (例：26.5歳)	(3) 勤続年数 (例：10年4か月)	(4) 給与等(年間) (例：538万円)
①直接契約	名	. 歳	年 か月	万円
②間接契約	名	. 歳	年 か月	/

※①直接契約：パート・アルバイト・契約職員・嘱託職員

※②間接契約：派遣職員

問8 貴施設において、職員の質を向上させるために、ア 現在、取り組んでいること、イ 今後 取り組みたいこと、をそれぞれお答えください。(ア・イそれぞれ○はいくつでも)

	ア 現在取り組んでいること	イ 今後取り組みたいこと
① 研修の実施	1	1
② 先進的な取組をしている他施設への見学	2	2
③ 休憩時間や休日が取得しやすい、時間勤務等、働きやすい環境づくり	3	3
④ 職員間の信頼関係づくり、良好な関係づくり	4	4
⑤ 保育業務の標準化、効率化	5	5
⑥ 給与や待遇改善による優秀な人材の確保	6	6
⑦ 正職員の増員	7	7
⑧ リーダーの養成	8	8
⑨ 保育士の相談窓口の設置	9	9
⑩ その他 ( )	10	10
⑪ 特にない	11	11

問9 問8の「ア 現在取り組んでいること」で「11 特にない」と回答した方にお聞きします。  
現在取り組めていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 業務が忙しくて時間がない	2 人手不足のため
3 指導や研修できる人材がいないため	4 労働条件の改善が難しい(給与、有給取得、時短勤務等)
5 職員間の関係がよくないため	6 どんなことをすれば良いかわからない
7 その他 ( )	

### 情報通信技術 (ICT) の活用について

問10 貴施設で使用しているパソコンやタブレットの台数をご記入ください。

①パソコン ( ) 台	②タブレット ( ) 台
-------------	--------------

問11 業務の簡略化、負担軽減のため、情報通信技術 (ICT) の導入を望まれますか。(○は1つ)

1 導入したい	2 導入したいと思わない	3 どちらともいえない
4 わからない	5 <u>すでに導入している</u> -----▶ 問11-1へ	

問 11-1 問 11 で「5 すでに導入している」と回答した施設におうかがいします。

導入して、どのような効果がありましたか。(○はいくつでも)

- |    |                                 |
|----|---------------------------------|
| 1  | 手書きでの書類作成が削減できた                 |
| 2  | 紙媒体の管理が少なくなった                   |
| 3  | 計算業務が自動化できた                     |
| 4  | 事務の簡素化により、時間外勤務が減った             |
| 5  | 情報管理のフォーマット(様式・書類)が一律になり見やすくなった |
| 6  | 保育士同士の情報共有がしやすくなった              |
| 7  | 保護者との情報共有がしやすくなった               |
| 8  | 登園降園管理等での電話対応が減った               |
| 10 | 保育士の勤労意欲(モチベーション)が向上した          |
| 11 | 仕事の質を向上させるための工夫を保育士が考える時間が増えた   |
| 12 | 保育士間の情報の一元管理により業務ミスが減少した        |
| 13 | その他( )                          |
| 14 | 特に効果はみられない                      |

問 12 貴施設において、パソコン等の情報通信技術(ICT)を使用して作業されている事務業務をお答えください。(○はいくつでも)

- |    |                   |    |              |    |             |
|----|-------------------|----|--------------|----|-------------|
| 1  | 教育・保育課程の編成        | 2  | 財務会計(集金)管理   | 3  | 職員会議記録の作成   |
| 4  | 年間指導計画の作成         | 5  | 月の指導計画の作成    | 6  | 週案の作成       |
| 7  | 日案の作成             | 8  | 行事計画の作成      | 9  | 個別指導計画の作成   |
| 10 | 保育日誌の作成           | 11 | 児童表の作成       | 12 | 子どもの個人記録の作成 |
| 13 | 連絡帳の作成            | 14 | 園だより等配布物の作成  | 15 | 職員間の情報共有    |
| 16 | 社用(公用)車の運行管理      | 17 | 子どもの健康管理票の作成 | 18 | 午睡チェック      |
| 19 | 活動計画・記録の管理        | 20 | 写真や動画の管理・販売  | 21 | 子どもの登降園の管理  |
| 22 | 職員の勤務状況管理         | 23 | 給与計算         | 24 | 栄養管理        |
| 25 | 保護者への一斉配信メール      | 26 | 施設のホームページ作成  |    |             |
| 27 | 施設内容のPCをつなぐネットワーク |    |              |    |             |

問 13 貴施設において、今後、パソコン等の情報通信技術(ICT)を使用して作業したいと思う事務業務をお答えください。(○はいくつでも)

- |    |                   |    |              |    |             |
|----|-------------------|----|--------------|----|-------------|
| 1  | 教育・保育課程の編成        | 2  | 財務会計(集金)管理   | 3  | 職員会議記録の作成   |
| 4  | 年間指導計画の作成         | 5  | 月の指導計画の作成    | 6  | 週案の作成       |
| 7  | 日案の作成             | 8  | 行事計画の作成      | 9  | 個別指導計画の作成   |
| 10 | 保育日誌の作成           | 11 | 児童表の作成       | 12 | 子どもの個人記録の作成 |
| 13 | 連絡帳の作成            | 14 | 園だより等配布物の作成  | 15 | 職員間の情報共有    |
| 16 | 社用(公用)車の運行管理      | 17 | 子どもの健康管理票の作成 | 18 | 午睡チェック      |
| 19 | 活動計画・記録の管理        | 20 | 写真や動画の管理・販売  | 21 | 子どもの登降園の管理  |
| 22 | 職員の勤務状況管理         | 23 | 給与計算         | 24 | 栄養管理        |
| 25 | 保護者への一斉配信メール      | 26 | 施設のホームページ作成  |    |             |
| 27 | 施設内容のPCをつなぐネットワーク |    |              |    |             |

保育職員の職場定着に向けた取組状況についておうかがいします。

問14 貴施設の、過去3年間(H28年度～H30年度)の4月1日時点での保育士の人数をご記入ください。

	正規	非正規	うち常勤	
			うち常勤	うち非常勤
平成28年度	人	人	人	人
平成29年度	人	人	人	人
平成30年度	人	人	人	人

問15 貴施設で、過去3年間(H28年度～H30年度)に自己都合で退職した保育士(定年退職除く)がいますか。いる場合、その人数をご記入ください。

	正規	非正規	うち常勤	
			うち常勤	うち非常勤
平成28年度	人	人	人	人
平成29年度	人	人	人	人
平成30年度	人	人	人	人

問16 問15の退職者(定年退職除く)について、勤務年数別の実人数を記入してください。

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	合計
	平成28年度	人	人	人	人	人	人	人	人
平成29年度	人	人	人	人	人	人	人	人	人
平成30年度	人	人	人	人	人	人	人	人	人

問17 貴施設で、ア 現在、保育士の職場定着のために取り組んでいることは何ですか。また、イ 今後、保育士の職場定着のために取り組みたいと思うことは何ですか。⑳その他の場合は（ ）内に具体的内容をご記入ください。（それぞれ○はいくつでも）

	ア 現在、取り組んでいること	イ 今後、取り組みたいこと
① 給与水準の引き上げ	1	1
② 給与体系の構築	2	2
③ 労働時間の短縮	3	3
④ 休暇を取得しやすい環境の整備	4	4
⑤ 職員の子育て支援体制の充実	5	5
⑥ キャリアアップの仕組みの構築	6	6
⑦ 施設外研修受講環境の改善	7	7
⑧ 施設内研修内容の充実	8	8
⑨ 作成書類の軽減、事務作業の効率化	9	9
⑩ 福利厚生 of 充実	10	10
⑪ 腰痛対策	11	11
⑫ メンタルヘルス対策	12	12
⑬ パワーハラスメント防止策の充実	13	13
⑭ セクシャルハラスメント防止策の充実	14	14
⑮ 相談窓口の設置	15	15
⑯ 社会的な評価の向上	16	16
⑰ 職場のなごやかな雰囲気づくり	17	17
⑱ 職員間のミーティングの充実	18	18
⑲ クレーム対応体制の整備	19	19
⑳ その他（ ）	20	20
㉑ 特にない	21	21

問18 貴施設において、保育士を安定的に雇用していくために望む公的支援は何ですか。  
（○はいくつでも）

1 職員の給与改善に関する公的支援の充実	2 非正規から正規への雇用を安定的に継続する
3 正規と非正規の均衡（均等）待遇の促進	4 社会保険・雇用保険の事業主負担の軽減
5 保育士の人材バンクの充実	6 保育・介護サービスなどの福祉制度の充実
7 教育訓練に関する助成金制度の充実	8 教育・研修制度の充実
9 相談支援体制の充実	10 技術・技能評価制度の整備
11 保育士の社会的評価を高める取り組み	12 助成金や法令等のPR・解説の充実
13 加配職員雇用のための支援の充実	14 その他（ ）

**最近の保育士の採用状況についておうかがいします。**

問19 昨年度（平成30年度）の「(1) 新卒」及び「(2) 新卒以外」の採用状況それぞれについて、該当する欄に数字をご記入ください。（記入にあたっては、下記の注意書きを参照してください。）

	採用予定数		(1) 新卒			(2) 新卒以外
			採用数	うち 県内養成施設	うち 県外養成施設	採用数
正 規	人		人	人	人	人
非正規	常 勤	人	人	人	人	人
	非常勤	人	人	人	人	人
計			人	人	人	人

注1) 採用予定数について、あらかじめ正規・非正規の内訳が無い場合は、計のみご記入ください。

注2) 「(1) 新卒」は、保育士養成施設からの4月採用のみについてご記入ください。

注3) 「(2) 新卒以外」は、上記以外の全てについてご記入ください。（例：4月における既卒者の採用や年度途中における新卒者の採用等）

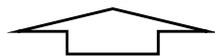
問20 昨年度（平成30年度）の採用において、募集に対し応募が、「なかった」または「募集より応募が少なかった」場合は、その雇用形態について選択肢より選び記入してください。（○はいくつでも）

1 新卒の正規	2 新卒の非正規（常勤）	3 新卒の非正規（非常勤）
4 新卒以外の正規	5 新卒以外の非正規（常勤）	6 新卒以外の非正規（非常勤）

問21 どのようなスタッフを求めているか、(1)と(2)それぞれの場合について、選択肢より3つまで選び、番号に○を記入してください。（○はそれぞれ3つまで）

(1) 新卒での採用	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8
(2) 新卒以外での採用	⇒	1	2	3	4	5	6	7	8

**【選択肢】**



1 常勤スタッフ	2 早番・遅番ができるスタッフ
3 正規職員の休暇代替スタッフ	4 正規職員の休業代替スタッフ（例：産休、病休）
5 担任補助・加配	6 職員の休憩・事務作業時間を確保するためのスタッフ
7 非常勤スタッフ	8 その他（ ）

問22 採用する保育士に求める技術・知識についておうかがいします。（○は3つまで）

1 保育士としての基本的な実務経験	2 熟練した実務経験
3 施設管理経験	4 乳児保育の経験
5 発達に遅れのある児童の保育の経験	6 集団保育の経験
7 保育に関する幅広い知識・実技能力	8 最近の子育て事情
9 パソコンの基本的な操作	10 社会性・一般常識
11 コミュニケーション能力	12 その他
13 施設内で養成するため何も求めない	（ ）



問26 現在、保育士の採用に困難を感じていますか。(○は1つ)

またその理由はどんなことですか。

- |                      |
|----------------------|
| 1 はい ⇒ (理由 : _____ ) |
| 2 いいえ                |

**潜在保育士(※)についておうかがいします。**

※本調査では、保育士資格を有していながら、保育士として勤務していない方(就労経験の無い方を含む)を「潜在保育士」として扱います。

問27 貴施設において、過去3年間(平成28年度~30年度)に潜在保育士を雇用したケースがありますか。(○は1つ)

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1 はい ----▶ 問 28 へ | 2 いいえ ----▶ 問 34 へ |
|-------------------|--------------------|

**問28~問33は、問27で「1 はい」と回答した施設におうかがいします。**

雇用した潜在保育士に関し具体的にお答えください。なお、複数名いる場合は直近の方に関してお答えください。

問28 雇用した潜在保育士の雇用形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1 正職員(「短時間正職員」を除く) | 2 短時間正職員        |
| 3 パート・アルバイト        | 4 嘱託            |
| 5 派遣社員             | 6 その他 ( _____ ) |

問29 雇用した潜在保育士は次のうちのどのスタッフですか。(○は1つ)

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1 保育スタッフ(担任)    | 2 保育スタッフ(担任以外) |
| 3 早番・遅番スタッフ     | 4 職員の休日代替スタッフ  |
| 5 その他 ( _____ ) |                |

問30 性別についてお答えください。(○は1つ)

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問31 年代についてお答えください。(○は1つ)

- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 1 20歳代 | 2 30歳代 | 3 40歳代 |
| 4 50歳代 | 5 60歳代 | 6 それ以上 |

問32 雇用した潜在保育士の実務経験等についてお答えください。(○はいくつでも)

1	保育士経験者（実務経験年数を下記から選んでください）		
→	1 1年未満	2 1～3年未満	3 3～5年未満
	4 5～10年未満	5 10年以上	
2	保育士未経験者		
3	子育て経験者		
4	一般企業経験者		
5	保育・教育関係の職業経験者（ベビーシッター、小学校教諭など）		
6	職務経験がない		
7	その他（ )		

問33 潜在保育士の雇用の際、工夫したことはありますか。(○はいくつでも)

【雇用条件】	1	給与の引き上げ
	2	勤務時間の対応（短時間勤務、残業時間の短縮、隔日勤務等）
	3	雇用形態の対応（パート・アルバイト等希望の雇用形態での採用等）
	4	再雇用制度（退職者が一定の条件を満たせば復職を認める制度）の整備
	5	その他（ )
【職場環境】	6	就業のための実務研修制度
	7	人間関係（例：潜在保育士への積極的サポート）
	8	相談窓口の設置
	9	キャリアアップの仕組み
	10	事務作業の効率化
	11	その他（ )

→問36へお進みください。

問34 問27で「2 いいえ」と回答した施設におうかがいします。

雇用しない（またはできない）理由は何ですか。(○は3つまで)

1	人員が足りている
2	経営的な余裕がない
3	施設の雇用条件、形態等と応募者の希望とがマッチしない ---->問35へ
4	保育士雇用へ向けた財政支援（補助金）がない
5	求人したいがノウハウがない
6	その他（ )

問35 問34で「3 施設の雇用条件、形態等と応募者の希望とがマッチしない」と回答した施設にお  
うかがいします。

雇用するにあたって障害となっているものは何ですか。(〇は3つまで)

【雇用条件】	1 給与の水準
	2 勤務時間の対応（短時間勤務、残業時間の短縮、隔日勤務等）
	3 雇用形態の対応（パート・アルバイト等希望の雇用形態での採用等）
	4 再雇用制度（退職者が一定の条件を満たせば復職を認める制度）の整備
	5 その他（ <span style="float: right;">）</span>
【職場環境】	6 就業のための実務研修制度
	7 人間関係（例：潜在保育士への積極的サポート）
	8 相談窓口の設置
	9 キャリアアップの仕組み
	10 事務作業の効率化
	11 その他（ <span style="float: right;">）</span>

すべての施設におうかがいします。

問36 今後、潜在保育士を雇用するにあたって、効果があると思われる取組についてお答えください。  
(〇は3つまで)

【雇用条件】	1 給与の引き上げ
	2 勤務時間の対応（短時間勤務、残業時間の短縮、隔日勤務等）
	3 雇用形態の対応（パート・アルバイト等希望の雇用形態での採用等）
	4 再雇用制度（退職者が一定の条件を満たせば復職を認める制度）の整備
	5 その他（ <span style="float: right;">）</span>
【職場環境】	6 就業のための実務研修制度
	7 人間関係（例：潜在保育士への積極的サポート）
	8 相談窓口の設置
	9 キャリアアップの仕組み
	10 事務作業の効率化
	11 その他（ <span style="float: right;">）</span>

問37 今後、保育士の雇用に関する支援でどのようなものを求めますか。(〇は3つまで)

1	潜在保育士の再就職に向けた研修の実施 -----▶ 問 38 へ
2	再就職意向のある方を対象にした就職相談会の実施
3	潜在保育士に登録してもらい、県内の保育所に斡旋する仕組み（人材バンク）
4	潜在保育士の再就職を支援するコーディネーターの配置
5	ファミリーサポート利用促進
6	常勤職員条件の緩和（ワークシェアでの常勤職員カウント）
7	その他（ <span style="float: right;">）</span>

問38 問37で「1 潜在保育士の再就職に向けた研修の実施」と回答した施設におうかがいします。

潜在保育士を現場に受け入れる際に、受けさせたい研修をお選びください。(○は5つまで)

1 保育実技	2 事故防止・安全対策
3 救命救急	4 小児保健
5 衛生管理	6 発達心理学
7 保育所保育指針	8 食育
9 職員間のコミュニケーション	10 子どもとのコミュニケーション
11 保護者とのコミュニケーション	12 児童の家族への支援について
13 面接準備	14 社会人としてのマナー
15 クレーム対応	16 ICTに関する知識・技術
17 保育施設での見学実習	18 保育計画・保育日誌・お便り帳等の書き方
19 児童福祉行政・制度に関する知識	20 その他 ( )

問39 潜在保育士を雇用することによるメリットは何だと思いますか。

① 潜在保育士が持つ特性では (○は3つまで)

1 保育士経験がある	2 他業種での社会人経験がある
3 子育て経験がある	4 社会性と一般常識に優れている
5 モラルと倫理をわかまえている	6 コミュニケーション能力に長けている
7 その他 ( )	

② 施設に与える影響では (○は3つまで)

1 即戦力として期待できる	2 シフトが組みやすくなる
3 保育の質が向上する	4 経営効率が上がる
5 施設の雰囲気が変わる	6 その他 ( )

問40 潜在保育士を雇用することによるデメリットは何だと思いますか。

① 潜在保育士が持つ特性では (○は3つまで)

1 保育士としての実務経験が中断している	2 過去の保育士経験が障害になる
3 社会性と一般常識に欠けている	4 モラルと倫理をわかまえていない
5 コミュニケーション能力に乏しい	6 その他 ( )

② 施設に与える影響では (○は3つまで)

1 即戦力として期待できない	2 シフトが組みづらくなる
3 保育の質が低下する	4 経営効率が下がる
5 施設の雰囲気が変わる	6 その他 ( )

問41 保育士資格所有者が、保育士として就労しない理由は何だと思えますか。

① 個人の状況では（○は3つまで）

1 家庭との両立が難しい	2 自身の健康面や体力面に不安がある
3 家族の健康問題や介護のため	4 家族の理解が得られない
5 近い将来結婚、出産を控えている	6 進学のため
7 急いで仕事に就く必要がない	8 (保育士以外の)他の職種への興味・関心
9 他施設への興味	10 自身の適性・能力への不安
11 保育の仕事から離れていたことへの不安	12 保護者との関係づくりへの不安
13 責任の重さ・命を預かることへの不安	14 希望の給料に合う施設がない(給料への不満)
15 希望の雇用形態の施設がない	16 自宅に近い施設がない
17 希望の勤務時間の施設がない	18 保育所の求人情報が得にくい
19 保育士に抱いていた理想と現実が違った	20 その他
	( )

② 職場環境では（○は3つまで）

1 職場の人間関係	2 仕事量が多く、身体的な負担が大きい
3 時間外勤務が多い	4 休暇が取れない・取りづらい
5 子どもを預けることができない	6 職場における本業以外の業務負荷
7 教育・研修体制に不満がある	8 キャリアアップの機会がないため
9 将来への展望、昇給・昇進への道筋が見えない (キャリアの問題)	
10 雇用者側の都合 (施設の閉鎖・統廃合等)	
11 保育の理念・方針への不満	12 その他
	( )

問42 保育士として働くためには、何が重要だと思えますか。

下記の選択肢の中から特に重要だと思うことを5つ選び、重要度の高いものから順に、( )内に番号を記入してください。

( ) 番 ⇒ ( ) 番 ⇒ ( ) 番 ⇒ ( ) 番 ⇒ ( ) 番

【選択肢番号】

1 子どもへの愛情	2 生計の見通しが立つ賃金	3 プライベートとの両立
4 家族の協力	5 上司の理解	6 仕事の量
7 余裕のある人員	8 子育て中の職員への配慮	9 福利厚生
10 相談できる相手	11 仕事に対するやりがい	12 職場の人間関係
13 保護者との人間関係	14 キャリアについての展望	15 教育・研修の体制
16 業務の効率化	17 忍耐	18 保育に関する知識
19 パソコン等電子機器の操作技術	20 保育の理念・方針	21 健康・体力
22 適性・能力	23 職場への通勤のしやすさ	

問43 保育行政などについて、ご意見・ご提案などがございましたら、ご自由にご記入ください。



ご協力ありがとうございました。  
調査票は同封の返信用封筒（切手不要）に入れご返送ください。